

第15回 RIEC スピントロニクス国際ワークショップ 15th RIEC International Workshop on Spintronics

開催日：平成29年12月13日（水曜日）～14日（木曜日）（2日間）

開催場所：東北大学電気通信研究所 ナノ・スピン実験施設

参加人数：113名（うち外国人参加者人数29人）

本ワークショップは2005年に第1回が開催されて以来、ほぼ年1回のペースで回を重ね、今回で15回目の開催となった。今回は、我が国をはじめとして、アメリカ、台湾、シンガポール、フランス、ポーランド、韓国、スイス、ドイツ、スウェーデンからの招待講演者による19件の招待講演に加え、22件のポスター発表がなされた。また今回も前年に引き続き日本学術振興会「研究拠点形成事業（Core-to-Core Program）」のワークショップと連続での開催とした。RIEC スピントロニクス国際ワークショップの合計参加者は113名を数え、スピントロニクス分野における最新のトピックスに関して活発な議論がなされた。

今回のワークショップでは、スピン軌道トルク、磁性の電界効果、スピントルク磁化反転技術、スピン波、磁気スキルミオン、トポロジ、というように最近のスピントロニクス研究の中で進展が著しいトピックスに焦点を当て、最先端の研究を行っている世界各国の研究者を招待講演者として招いた。いずれのトピックも聴衆との間で活発な議論がなされ、今後のスピントロニクス研究の更なる発展の可能性を感じることができた。ポスター発表では本学の学生も発表を行い、世界の一流研究者に対して自分の研究内容を伝え議論することで、今後の研究を進めていくための良い示唆と大きな刺激が得られたものと思う。



ナノ・スピン実験施設 カンファレンスルームにて